

診療報酬改定

2022年4月、2年に一度の診療報酬改定が行われました。今回の改定の概要について当法人に関連のある点を中心に医事課にまとめてもらいました。

表1 入院期間に応じた区分

改訂前	30日以内	31日以上
精神科急性期治療病棟入院料1	1997点	1665点



改訂後	30日以内	31日以上 60日以内	61日以上 90日以内
精神科急性期治療病棟入院料1	2000点	1700点	1500点

表2 通院・在宅精神療法

診療時間	実施者	点数
60分以上	指定医	560点
	それ以外	540点
30分以上	指定医	410点
	それ以外	390点
30分未満	指定医	330点
	それ以外	315点

診療報酬とは、外来診療や入院診療などの保険診療の際に医療行為等の対価として計算される報酬を指し、患者はこの一部を窓口で支払い、残りは公的医療保険で支払われます。2年に一度見直されており、今年4月にも改定が実施されました。

今回の精神科の診療報酬改定では、外来や在宅における多職種での関りを評価する加算が新設され、地域や他科と連携し地域包括ケアシステムを充実させていくという事が盛り込まれました。ポイントは①入院料の再編、②外来や在宅における多職種支援を評価する加算、③依存症集団療法にアルコール依存症が追加、の3点になります。

①入院料の再編

植苗病院で算定している精神科急性期治療病棟入院料1は、改訂前は30日以内と31日以上の2区分だったものが、30日以内、31日以上60日以内、61日以上90日以内の3区分に設定されました(表1)。

②外来や在宅における多職種支援を評価する加算

外来通院中で重点的な支援を要する方に対して、その方がより地域に定着できるよう、他職種による相談支援や関係機関との連絡調整等を行なった場合に「療養生活継続支援加算」が算定できることになりました。また「精神科在宅患者支援管理料」の対象に、ひきこもり状態の方や通院を中断してしまった方、精神疾患が未治療である方が新たに追加されました。さらに通院・在宅精神療法が見直され、精神保健指定医が行った場合とそれ以外の場合で差が付くことになりました(表2)。

③依存症集団療法にアルコール依存症が追加

今までは薬物依存症とギャンブル依存症のみが対象だった依存症集団療法に、アルコール依存症が新たな対象として追加されました。また、「重度アルコール依存症入院医療管理加算」が「依存症入院医療加算」と名前が変わり、新たに薬物依存症も対象となりました。依存症患者に対する医療の充実が図られています。

他にも、かかりつけ医からの精神科などへの情報提供に対する評価として「こころの連携指導料」の新設などがありました。潜在的にはニーズがありながらも精神医療とは繋がっていない方々への相談支援や地域との連携を後押しする形となっており、今後行われる診療報酬改定でどの様になっていくのか注視していきたいと思えます。

活動報告

新人教育研修

社会医療法人こぶしでは、毎年4月に過去1年の間に入職した職員を対象とした新人教育研修を開催しています。今年も4月5日に行われ、各部署の説明や待遇についてなどを参加者は真剣に耳をかたむけていました。



新人教育研修参加者（採用年月日順）

下川部梨絵（保育士）	小林 朋妙（看護助手）
小野 雅生（看護師）	玉井 由佳（遊友荘世話人）
齊藤百合香（看護師）	奥田 浩子（こころっくる看護師）
山崎 太輔（看護師）	佐藤奈緒子（紙風船指導員）
大矢野和樹（ボイラー技士）	



駅の乗り階段でつまずいた。酒に酔っており、手でかばいきれず顔面を打った。上唇と鼻の間に手を当てると、赤く染まっていた。アルコールが入っていたせいか、感触以上に多い出血に驚いた。しばらくの間、傷のあたりの髭を剃れず、難儀した。

実は2年ほど前にも、酷似した目にあった。左のつま先を上り階段に引っ掛けて転び、負傷した箇所も左側の唇の上で、今回と5mmと違わなかった。酒に酔っていた場面も同じだ。

2度の痛い体験で分かった。私の歩き方はどうも、左足を上げる高さが、右足より小さいようだ。学生時代にサッカーをやっていたせいか、すり足気味で歩くうえ、おまけに左足側の力が弱いとなれば、つまずきも納得がいく。

それ以来、階段では意識して左足を高く上げるよう努めている。これまでは右、左、右、左と心の中で数えながら歩いてたとしたら、今は左、右と逆に唱え、出だしの左足に気を配っている。

人間は皆、身体的な特徴が違う。弱いところをどう補うかは、自分が一番よく知っている。老化が進めば、弱点も顕著になるだろう。「転ばぬ先の杖」を意識して過ごしたい。もっとも、酒に酔う習慣だけは変えられず、「二度あることは一」にならなければ良いが。

(M.T)

『地域医療連携室について』

地域医療連携室室長（看護師） 岡田雄一

当院において2022年4月より新設された地域医療連携室についてお話をさせていただきます。

地域の医療機関には、それぞれの専門性と役割があります。地域医療連携とは、地域の医療状況に合わせて、各医療機関が持ち味を生かして連携し、役割を分担して専門性を高め医療機関ごとの機能をより有効的に活用することで、この地域医療連携によって地域の方々が継続的に適切な医療を受けられるようになります。

地域医療連携室では、当院と胆振・日高地方、千歳市近郊を中心とした地域の医療機関、高齢者施設等をつなぐ精神医療機関の窓口として、親切・丁寧・スピーディーな連携を目指して行きます。また、様々な連携に必要な院内の多職種との情報共有や役割分担、その進行状況の確認を協働して進めて行きます。

これらの役割を担うためのスタッフは私を含めた3名（松田精神保健福祉士と大久保統括外来師長）で構成されています。主な業務は、①新規外来受診の予約、②緊急受診・入院の相談③予約入院・緊急入院のベットコントロール（主治医と入院病棟の決定）、④退院予定者の把握、⑤各病棟の空床状況の把握、⑥医師・看護師・コメディカルスタッフ・事務部との連絡調整、⑦サービス向上委員会の運営（患者意見箱の管理・意見集約とその後の対応の協議・患者満足度調査の実施など）です。

当院は、将来的な新築移転が決定しています。今後は、移転後の新病院を意識した土台作りを少しずつ進めて行きますのでどうぞよろしくお願い致します。



柳町デイケア川柳

2022年4月発行の407号において掲載されておりました「柳町川柳」が、2022年2月に発行された405号の作品と同じものでした。お詫びと訂正をさせていただきます。

- 卒業よポッコリお腹に美魔女へと W
- 五輪新悲願の金を高木美帆 克彦

関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げます。

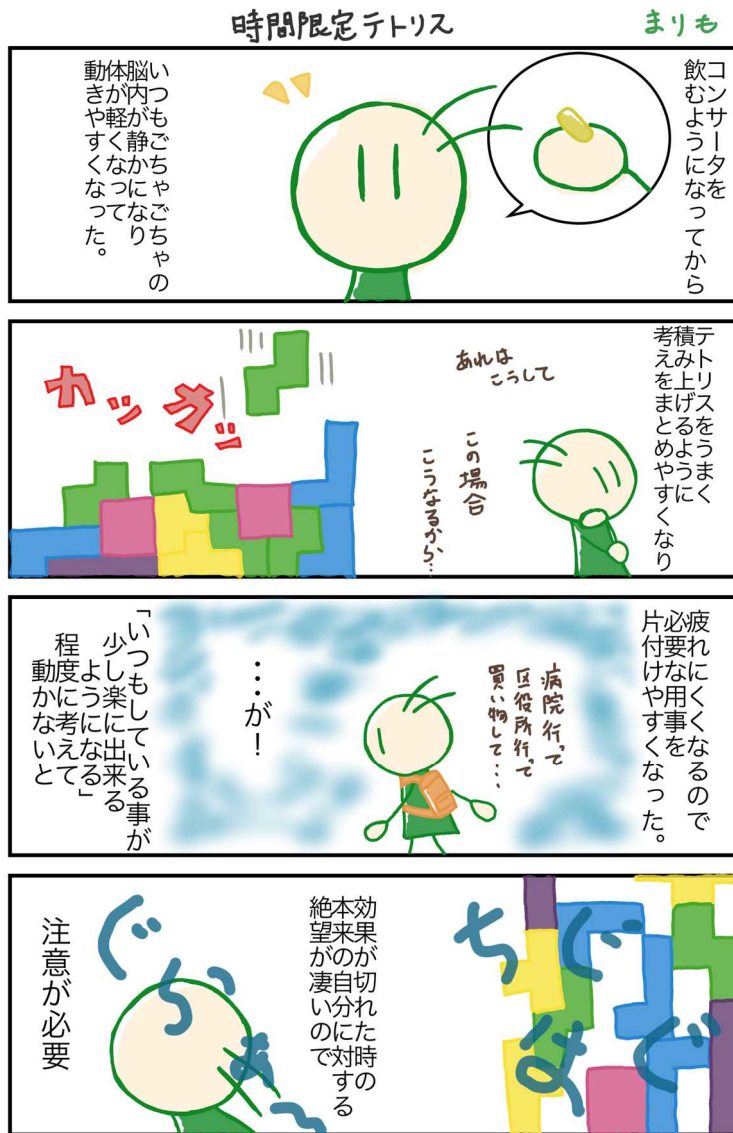
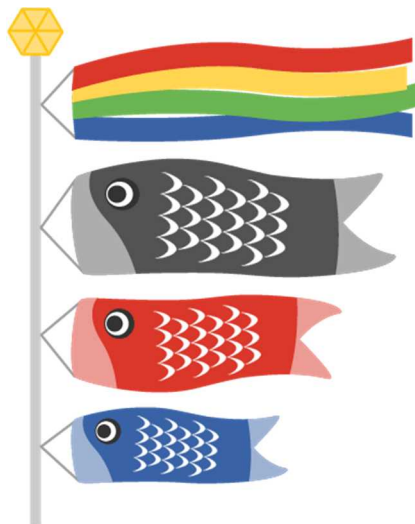
社会医療法人こぶし広報委員会

お知らせ

◆ 外来休診のお知らせ ◆

社会医療法人こぶしでは8/11(木)~8/17(水)の間、外来診療が休診となります。ご利用されています皆様にはご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

	8/10 水曜日	8/11 木曜日	8/12 金曜日	8/13 土曜日	8/14 日曜日	8/15 月曜日	8/16 火曜日	8/17 水曜日	8/18 木曜日
外 来	通常診療	休 診						通常診療	



病む人と出会い
病む人を支え
病む人に学ぶ

発行
社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市字植苗52-2
TEL:0144-58-2314
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



植苗病院の前庭

< 後記 >

旅行に行けない状態が続きすぎてゴールデンウィークが何連休かのチェックもしていなかった自分にびっくり。今年はカレンダー通りだと飛び石連休ですが、2日が休診で7連休になりました。

(H)